

時代	奈良時代
<h1>誕生釈迦仏の出土</h1> <h2>～石見国分寺の発掘調査から～</h2>	
<p>741年、聖武天皇は国家の安泰と五穀豊穡を願って、全国の国々に国分寺・国分尼寺を造るよう命じました。</p>	



出雲国の国分寺は、茶臼山東麓の松江市竹矢町に位置します。発掘調査によって、金堂などの主要建物が明らかになりました。寺域は約150m四方と推定され、金堂は東西約32mの堂々たる規模を持ちます。



図2 隠岐国分寺跡  
伝後醍醐天皇行在所としても知られ、奈良時代の古瓦が発見されています。



図3 出雲国分寺跡



図4 石見国分尼寺跡  
「比丘尼所」「尼所」などの地名や瓦が多く見つかることから、石見国分尼寺があったと考えられています。

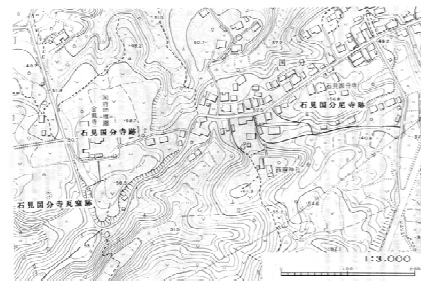
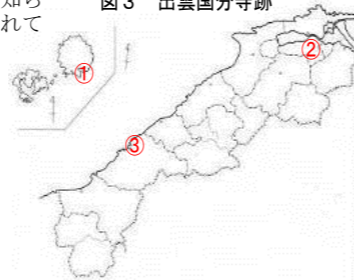


図5 石見国分寺・国分尼寺・瓦窯跡などの位置（浜田市国分町）

石見国分寺では、昭和60年からの発掘調査で、銅造誕生釈迦仏立像が出土しました。この立像は鑄上がりのみならず、その姿形がとても優れています。石見国分寺が建立される以前の、7世紀後半に制作されたものですが、石見国分寺で用いられていたものと考えられます。

### ～誕生釈迦仏～

国分寺で行われていた灌仏会（釈迦の誕生を祝う祭り）に用いられました。

地方で4月8日に行われる花祭りの起源？花祭りは、キリスト教でいうクリスマスにあたるものです。



図6 伝 国分尼寺跡から 図7 国分寺跡から



←図8 奈良時代の石見国分寺の瓦

平城京の瓦と同じ紋様であることから、石見国分寺が、同じ時代につくられたことや、律令国家の強い力によって建立されたことがわかります。

出典：(図1, 6～8) 『いにしへの島根ガイドブック』6巻 1996 島根県古代文化センター (図2～4) 山陰史跡ガイドブック4 『山陰の古代遺跡』史跡整備根とワーク (図5) 『石見国分寺跡第1期調査概報－昭和60年度～昭和63年度－』1988 浜田市教育委員会

## ～仏教の力で安らかな国づくり～

年 組 名前

聖武天皇は、不安な世の中が仏教の力で安らかなことを願って、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てることを命じました。

**Challenge** ① 下の3つの写真は、島根県にある国分寺跡や国分尼寺跡です。それぞれ地図のどの番号の場所になりますか？あてはまる番号を( )に書きましょう。



出雲国分寺の想像図



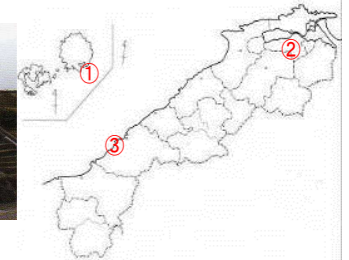
隠岐国分寺跡( )



出雲国分寺跡( )



石見国分尼寺跡( )



金堂は縦横が約32m、しき地全体は縦横が約150mです。

(金堂…本尊の仏を置く所 講堂…僧が勉強する所 僧房…僧の住まい)

② 上の出雲国分寺の想像図を見て、気がついたことを書きましょう。

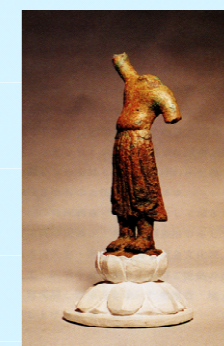
(教科書にある他国の国分寺の想像図とくらべてみてもおもしろいですね。)

## コラム

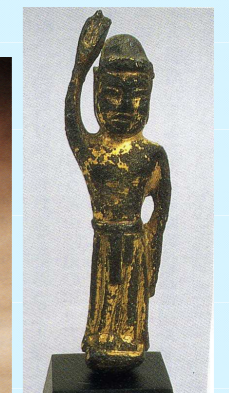
釈迦誕生仏が出てきたぞ!!

### 4月8日は何の日？

お寺では、4月8日に、お釈迦様の誕生を祝うお祭りが行われます。石見国分寺・国分尼寺に由来する、釈迦誕生仏（お釈迦様が生まれたときの姿）が今でも残っています。



国分寺跡から



国分尼寺跡から